

## ふくま振興会第6期地域自治振興計画

### 1. 計画の期間

令和4年度 から 令和6年度 (3ヵ年)

### 2. 地区の現況

服間地区は、高齢化率が41.07%(市内平均29.02%、全国28.7%)と越前市内で最も高く、高齢者世帯や一人暮らし世帯は約2割、高齢者二人暮らしを含めると全世帯数の約1/3にのぼります。

団塊の世代が後期高齢者となる令和7年(2025年)も間近に迫っています。現在、人口50人未満又は高齢化率が50%を超える町内は地区内に7町あり、今後さらに住民生活の基本的な地域単位である集落の小規模化が進み、高齢者割合が高い集落が増加して、活動人口の急激な減少による集落機能の低下が懸念されます。

地区の高齢化、人口減少の進行により、

- ・ 集落機能を支える担い手の減少
- ・ 住民同士の共同活動の機会の減少
- ・ 耕作放棄地や空き家の増加、山林の荒廃・獣害の発生
- ・ 祭等の集落の伝統文化の消失

をはじめ様々な面に影響が及んでいますが、単体の集落では解決に困難な課題生じており、地区の連帯や協働の必要性が増してきています。

昨年よりの新型コロナウイルス感染症の影響により、特に交流を図るイベント・行事が軒並み中止・自粛に追い込まれています。今後数年間は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くと言われていますが、事業活動を一旦中止すると、それが長期間に渡った場合、関係者との連携の希薄化やノウハウの伝達の中断など、再開にあたっての障壁が増してくる恐れがあります。交流機会の減少とともに事業活動や組織運営を継続していく上でも課題が出てきます。

#### ・地区の現況(令和4年1月1日現在)

地区面積：2,107.3ha 行政区数：22区

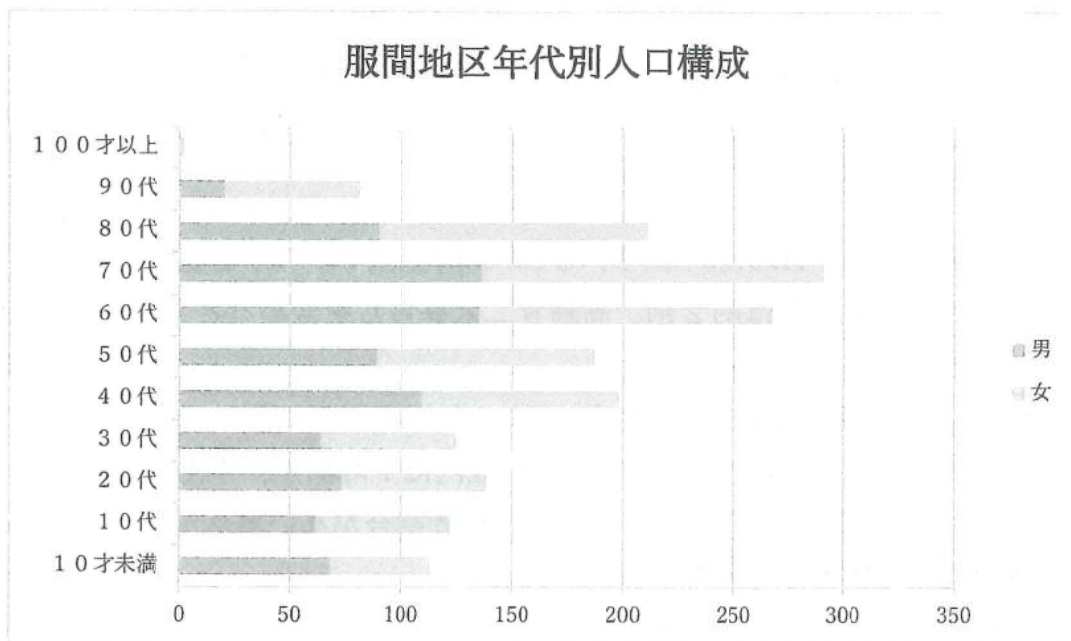
世帯数：598世帯 平成18年度(616世帯)から2.8%減

(内65歳以上の一人暮らし123世帯[令和3年4月1日現在])

人口：1737人 平成18年度(2,265人)から22.8%減

高齢化率：41.07 %（市内平均 29.02 %）

小学生児童数：77人 平成18年度（125人）から38.4%減



### 3. 地区の課題

近年の行政の効率化に伴い、「地域の個性を活かした住民の自立的、主体的なまちづくり」の流れが強まり、地域の身近な課題への取り組みは、住民自らが考え、行動することが求められています。ふくま振興会第6期地域自治振興計画では、次の三つの観点から課題に取り組んでいきます。

#### 1) 少子高齢化に対応できるコミュニティの形成

高齢者人口の増加と若年人口の減少により高齢化率は越前市内でも最も高い地区となっています。高齢者世帯や一人暮らしの方が多く、子供が少ない状態はこれからも続いていくと考えられます。

高齢者が健康で長生きでき、子供が楽しく幸せに育つ環境づくりをめざすとともに、若者が住み続けたいような地域独自のコミュニティづくりが望まれます。

日常生活を維持できる「見守り」の仕組み作りが必要です。

町内や地区の事業遂行にあたっては、地区住民相互の連帯を強め、協働の力を発揮出来るよう配慮し、少数の特定の人に負担が集中しないようにみんなで役割を分担し、協力していく必要があります。

## 2) みんなが安全安心に生活できるまちづくり

近年、異常気象による災害が各地で頻繁に起きていますが、農地や山林の管理に充分に手が回らず、鳥獣の被害や山林の荒廃による降雨時の洪水や土砂災害の増加、治水力の減退が問題となっています。

地域でできる範囲で事前に防災対策を行うとともに、災害時に住民相互で助け合い協力し合う自主防災組織の連携強化が必要です。

特に、要支援者の保護や避難場所の整備など災害対応の手立てを整えるとともに、普段から地区住民が一堂に会して交流し、絆を深めることで地区全体の人的な防災力を高めていくことも必要です。また、地区の全ての住民が安心して暮らすために、特に子供たちや高齢者が被害にあわないような地区ぐるみの見守り活動も必要です。

## 3) 地域の宝を活かすまちづくり

服間の良いところは、自然が豊かで、自然に育まれて美味しい農産物が生産され、地区に住む人たちは心優しく、連帯感を持って助け合う人情味ある人間性を持ち、古くから伝わる文化や伝統を大事にしているといったことが上げられますが、その資源が活かされず、また、その伝統を受け継いでいくことも次第に困難になってきています。

このため、観光資源である小次郎生誕地としての服間の情報発信や関連地域との交流、地域の長所を生かした服間ブランドの創造等を通して、若者たちが服間に愛着と誇りを持ち、住みたくなる服間・戻りたくなる服間にしていくことが必要です。特に若者が地区外の若者とも連携してこれらの事業に参画することにより、地区の魅力を再認識し、服間に愛着と誇りを持てるよう地域ぐるみでこれらの活動を応援していくことが大切です。

また、地域の活力向上の観点からも、元気な高齢者が年齢にかかわらず、これまで培った知識・スキル、経験を生かすことのできる場を設けることも必要です。

## 4. 地区の将来像

将来にわたり、地域の人たちが安心して暮らすことのできる環境を整え、持続的な集落の活性化を実現できるように地域づくりの目標を定めます。

### 地域づくりの目標

- \*相互扶助のコミュニティの形成
- \*安全安心で住みよい服間のまちづくり
- \*未来に残そう水と緑の住みよいふる里ふくま
- \*やさしく思いやりのあるふくまの里づくり

\*ふるさとを愛する青少年を育むふくまの里づくり

\*100まで元気で生きる健康づくり

\*服間を知ってもらおう、来てもらおう

## 5. 地区自治振興の基本方針

地域を取り巻くさまざまな課題解決や住民の皆さんのニーズに応えるため、7つの基本方針を定め、地区の各町内や各種団体と協力連携し、地域のみなさんと共に参加、実践し、住み続けたい服間の地区づくりを進めていきます。

(基本方針)

みんなでささえ合う いきいきふくまの里づくり

- 1 自治振興会組織の円滑な運営と社会教育事業の推進
- 2 地区の安全防災に備える
- 3 美しく住みよい環境づくり
- 4 明るく楽しく元気良い福祉社会の実現
- 5 明るく活力ある担い手の育成
- 6 100まで健康長生き、笑顔と心の体力づくり
- 7 語り継ごう服間の歴史

## 6. 事業計画

別紙 事業計画体系表のとおり

## ふくま振興会 振興事業計画体系表

みんなでささえ合う いきいき服間の里づくり

No.	部	地区の将来像	基本方針	実現のための事業	事業種別	実施年度		
						4	5	6
1-①	総務広報部	地域独自のコミュニティの形成	自治振興会組織の円滑な運営と社会教育事業の推進	自治振興会運営に関する事業(事務局)	基礎	○	○	○
1-②				広報事業	基礎	○	○	○
1-③				研修事業	基礎	○	○	○
1-④				夏まつり事業	協働	○	○	○
1-⑤				今立4地区連携イベント事業	協働	○	○	○
2-①	防災安全部	安全安心で住みよい服間のまちづくり	地区の安全防災	安全防災環境整備事業	協働	○	○	○
2-②				防災啓発活動事業	協働	○	○	○
2-③				見守り活動事業	協働	○	○	○
2-④				防犯灯補助事業	基礎	○	○	○
3-①	生活環境部	未来に残そう 水と緑の住みよいふるさとふくまの里づくり	美しく住みよい環境づくり	狭隘道路の除排雪に関する事業	基礎	○	○	○
3-②				町内整備事業	協働	○	○	○
3-③				鳥獣対策事業	協働	○	○	○
3-④				雪解けクリーン作戦事業	協働	○	○	○
3-⑤				河川一斉清掃事業	協働	○	○	○
4-①	福祉部	やさしく思いやりのあるふくまの里づくり	明るく楽しく元気良い福祉社会の実現	ふれあいいきいきサロン事業	協働	○	○	○
4-②				おたっしや会(敬老会)	協働	○	○	○
4-③				福祉ネットワーク強化事業	協働	○	○	○
4-④				ふれあい食事サービス事業	協働	○	○	○
5-①	青少年育成部	ふるさとを愛する青少年を育むふくまの里づくり	明るく活力ある担い手の育成	集落子供会活動支援事業	協働	○	○	○
5-②				地域子供教室支援事業	協働	○	○	○
5-③				青少年地域定着促進事業	協働	○	○	○
5-④				新生児地域祝福事業	協働	○	○	○
6-①	健康スポーツ部	100まで元気で生きる健康づくり	笑顔と心の体づくり。	地区体育祭事業	協働	○	○	○
6-②				各種スポーツ愛好者大会事業	協働	○	○	○
6-③				健康づくり事業	協働	○	○	○
6-④				スポーツ育成事業	協働	○	○	○
7-①	歴史文化部	服間を知ってもらおう、来てもらおう	語り継ごう服間の歴史	文化祭事業	協働	○	○	○
7-②				服間のお宝発掘事業	協働	○	○	○
7-③				柳の滝維持管理事業	協働	○	○	○
7-④				服間ブランディング事業	協働	○	○	○